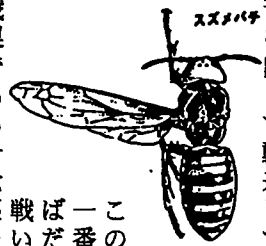


ふかまの自然への想い (2)

秋の城山—スズメバチ

小林龍一郎

それは幼稚園のふれあい交流事業で城山を訪ねた時だった。頂上の南側では、講師から秋の草花についてみんな説明を聞いていた。そのとき、私は七本の小竹を手にスズメバチと戦闘状態に入っていた。



一匹を討ち取ったとき、三匹がカチカチとすごい警告音を出して襲来してきた。

このときが一番のやまばだった。戦い終わって、戦果である十七匹をナイロンの袋に入れて、帰りの列の最後尾をびくつきながら帰る私の心臓は高鳴っていた。

八匹の姿を見たなら、とにかく逃げるが勝ちといわれている。秋の時期は八匹の数が増え、巣を守るために攻撃的になる。女王蜂一匹だけが生き残り、冬を越すスズメバチ、種族を残す最後の挑戦を巣全体で取り組んでいた戦闘蜂であったか。

子どもたちを守らねば、救急車をよんでのおしごととなる。子どもの命にかかわることでもあり、ここでやめて帰ろうともいえず。しかし、八手軍団もさるもの、巣に帰ってこない仲間を捜しに偵察がきはじめた。十

思い出の修学旅行 (6)

力武 美沙

五月十八日・十九日は、待ちに待った修学旅行でした。三原駅で校長先生の話聞き新幹線で大阪駅に行きました。一日目は、大坂城・法隆寺・東大寺です。

私は、東大寺が印象に残りました。大仏殿の高さは、四十八m。その中には十五mの大仏がありました。かみの毛だと思っていたのが、のうだと分かった気がした。その後、昔の東大寺のものをみると、七重のとうがありま

いと思いました。ほかに大仏の鼻と同じ大きさの穴が、柱にあけてありました。通る時、ひっかかる人がいました。南大門を出てから、シカにせんべいをあげました。シカの角は、短い毛がたくさん生えていて、気持ち良かったです。一日目の見学が終わって、ホテルに向かいました。

夕食の後、買い物に行きました。五重のとうがライトアップされていたのが見えました。次の朝、目がさめて時計を見ると、四時十八分でした。何ん

二日目は平等院・二条城・金かく寺・東映映画村です。一番楽しかったのは、映画村です。着いてからすぐにお弁当を食べました。忍者のロボットの下で食べたなら、上でギーギーと音がしてうるさかったです。そこで写真をとってもらいました。ほかにも銭形平次の家や日本橋でも写真をとりました。宮本君と西永君が牢屋に入っている写真もとったりしておもしろかったです。もっと映画村に長くいたかったです。帰りは、京都駅から新幹線に乗りました。駅に着いたとたんつかれがドッと出ました。でも新幹線の中で、トランプやウノをして楽しみました。とても楽しかった修学旅行。とて行きたいです。(完)

自然食を楽しんでいます

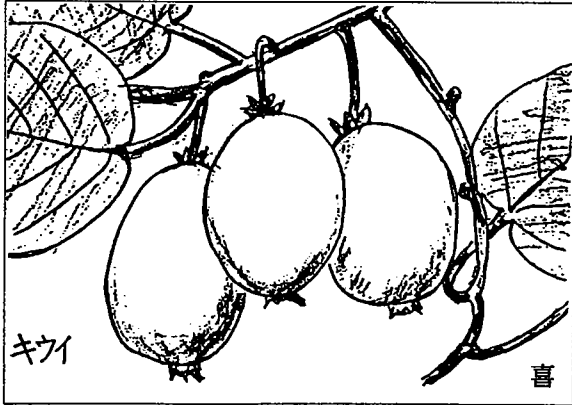
峠 安藤 志保

友人と一緒に麦づくりをしていきます。「深郷土誌」によると、以前は深町でも水田の裏作として、大半の田んぼで麦が栽培されていたとか。麦といえば、パンやうどん、スパゲッティ、クッキー、みそ、ビール...といろいろなものに幅広く使われています。それなのに、どこを見渡しても麦畑はありません。深町でも昭和四〇年頃以降は、採算が合わないために麦は作られなくなりました。麦は、食料としてだけでなく、いろいろな役割があつて、日本の農業には欠かせない存在

スズメバチが巣を作る時、木の繊維を強力な牙でかみ砕き、唾液で粘着性を出して作る巣の材質が紙によく似ていて、これから西洋紙が始まった。当時の西洋諸国では、子羊、山羊、子牛の皮でつくる羊皮紙が中心であり、東洋では麻や絹を原料にした麻布紙・絹紙が主流で、西洋の紙を全ての面で上回って珍重されていた。子どもたちの身近には自然の動物植物からヒントをもらって、製品化しているものも多い。例えばセンダングサもその一つ。子ども時代にはしゃかりと生活体験・自然体験をさせておくと、道徳観・正義感が充実した頭のいい子どもに育つという調査結果もある。次回は「イノシシ」

三度び都大路へ如水館V2

全国大会の予選を兼ねた第七回県高校女子駅伝競走大会が十一月四日比婆郡の道後山で開かれ、如水館が二年連続優勝。終始安定した走り、危なげなく第一位。如水館は、十二月二十四日京都で開かれる全国大会へ出場する。優勝めざして頑張れり。尚、男子は熊野高校に次いで、堂々第二位の成績。更なる精進を期待するや大。



麦

だったようです。冬の間、畑の土が飛ばされぬように守る、麦と野菜を組み合わせて病気を防ぐ、麦の収穫後は他に作物を植えるとかよく育つ等々。今年の夏には、収穫した麦で、手打ちうどん、たこ焼き、おまんじゅう、パン、ケーキ、クッキーなどを作って食べ、娘(六歳)も大喜びでした。煎りたての麦で沸かした麦茶も格別でした。何物にも代えがたい贅沢です。また麦蒔きの季節がやってきました。今年是我が家の庭にも少しばかり植えてみようと思っています。青々と茂る麦と黄色い菜種の花、こんな春の景色が広がったらいいなあ...と思

町内各種団体十二月行事予定

- ◆小学校・幼稚園
 - 避難訓練(小・幼) 一 吾
 - 参観日・期末懇談(小・幼) 一 吾
 - ふれあい交流事業(幼) 一 吾
 - 弁当終了(幼) 一 吾
 - 弁当終了・大掃除(小) 二 百
 - 終業式(小・幼) 一 三 百
- ◆女性会
 - 親睦会
 - ・上組 一 百
 - ・中組 一 百
 - ・下組 一 百
- ◆尚寿会
 - 介護教室(サンライズ大池) 一 百
 - 内容 骨折予防について
 - 場所 深町民会館
 - 時間 一三時三〇分
 - 講演会(サンライズ大池) 一 百
 - 演題 私の情熱(王美を慕って)
 - 時間 一三時三〇分
 - 若返り芸能大会 一 百
 - 場所 文化会館
 - 時間 九時半
- ◆消防団
 - 規律訓練(森小学校) 一 百
 - 年末防火巡回 一 百
 - 午後九時~午前〇時まで町内を巡回します。

展望

十月の中頃、上組の婦人が郵便局前の歩道を自転車で上方面に帰る折、五・六人の小学男子が横一線の下校しているのを見て、「ちょっと通して...」と声をかけた。「こ、こ、は歩道、自転車の通る道ではない」との子どもの主張で、結局一旦車道に出、子どもを通りこして歩道にはいった。このこと。確かに自転車が歩道を走るには『自転車通行可』の道路標識があるところに限定されています。この点から言えば小学生の主張は正論です。しかし、この論理が正当化されるか、と、どういふことになるか。今は亡き映画監督「小津安二郎」は、「何でもないことは世間の常識に従い、映画は自分の思う通りにつくる」と語っているのを雑誌で読んだことがあります。行するのは「何でもない」ことですが、人や社会に大きな迷惑をかけることは先ずありません。子ども時代は権利意識を植え付けることは大切です。同時に、それが全てに優先するものではないことを教える必要があります。▼人が共生するには思いやりや、善意の妥協は潤滑油です。多民族国家である欧米諸国は、契約社会と同時に福祉先進国です。日本から旅した人が一様に言われるのが「心くばり」のあつた社会であること。狭い道を互いに譲り合うのも、大人の大切な務めではないでしょうか。

深町歴史散策 (1)

高崎 壽郎

深のながい歴史の中で、名所史跡に当たると思われるものを、約二〇回に分けて紹介したいと思います。
お暇な時に、ご家族やお友達とお出かけください。

(1) 西の茶屋・東の茶屋

中世の山陽道は深を通っていた。現在の国道二号に当たるもので、人の往来も随分盛んであった。

山陽道は、中野村(尾道市美ノ郷中野)の寺谷から山越えして深に入り、稚子峠を経て山中村(中之町)へ通じる道である。天正十五年(一五八七)、天下統一を進めていた秀吉は、九州攻めにこの道を通った記録がある。

その街道の辺りに、老婆が小店(御休處)を営み、一休みする旅人に茶菓子をすすめたものである。沖成瀬観音堂の本尊に因んだ歓喜天饅頭や聖天草餅を作ったのだろうか。

西の茶屋の場所は、バス停大池下より上組へ通じる道を約百米位北東に行った所で、太郎谷パイパス完成で引越した峠堂(平成十二年四月再建)のある所当たりと推測される。
尚、東の茶屋は、松本光明氏宅付近にあったという。



思い出の修学旅行 (5)

玉置 あゆみ

五月一八・一九日楽しみにしていた修学旅行がありました。七時五分発の新幹線に乗りました。新幹線の中で、きょうくんが持ってきたウノをししました。一緒にやっしたのは翔平くん、美穂ちゃん、千順ちゃん、私とりょうくんです。二、三回やるうちに新大阪に着きました。そこからバスで大坂城へ向かいました。その間にガイドさんがなぞなぞを出してくれました。大坂城に着き昼ご飯を食べました。私はほとんど残しました。でも、フルーツは食べました。ご飯の後、お城の中を見ました。見回っているうちに、外国の人に会い記念写真をとってもらいました。その後、一番上まで上がり、写真をとりました。大坂ドーム・つうてんかくなどが見えました。

次の目的地、法隆寺には、五重塔・金堂がありました。階段を上った所で仏像のような顔が見えました。その後行った夢殿には、仏像がいくつもいくつもありました。次に、東大寺大仏殿へと向かいました。最初はどんな所かなーと思いきや、着いたらシカがたくさんいました。だって、大仏殿まで歩いていくのに、シカのフンがいっぱい落ちていました。

裏の秋に

深の里も秋一色になりあちらこちらと花々の美しい色に彩られています。十月は、深小学校も実りの秋、芸術の秋と秋を楽しみました。

西本さんや西永さんのご指導で田んぼの稲刈りをさせていだいたり、壮年会の方々から秋祭りの深町の太鼓踊りを教えていた

だきました。

深小だより

十一月十一日(土)には、地域の方々より「昔の遊び」を教えていただくことになり、子どもたちも楽しみにしておりました。また、二十六日(土)には「学習発表会」を開き、日頃の子どもたちの学習の成果を発表していきます。ただいま深小学校の児童数は八十二名、幼稚園児は十六名です。地域で見かけ

春夏秋冬

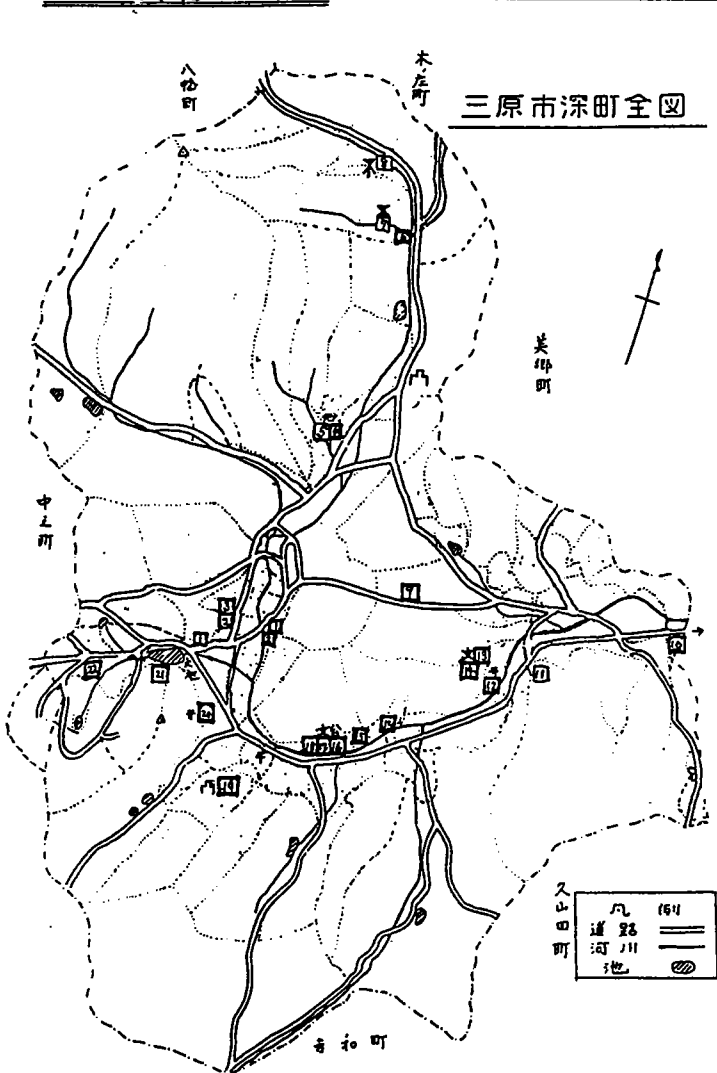
拙い短歌を長期間ご愛読いただきましたが、先月で一応終りとさせていただきます。大変有り難うございました。

平成十二年十一月

梶谷 マサヨ

たら、声をかけてやってください。

深町散策候補地 番号順にのせていきます



ボクの集団疎開の思い出

(元)大阪市立海老江東国民学校
2年 ニシガカツヒコ

せつない思い出③

ある晩、点呼が一人足りませんでした。

昼間の給食はカレーで

久しぶりの肉の味がしたので

皆んな感激。夜 腹の空いた

0君は辛棒におらず、真暗な

校庭を横切、食堂へ侵入

すべの底をかかっていたのを、先生方に

発見。翌日は一人、3食お仕置の

総食となりました。みんな他人事では

ありませんでした。

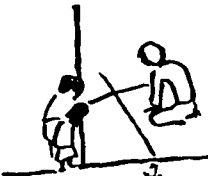
大阪から保護者会長

が面談に来てくれた。

慰問に来てくれた。

村人の庭にぞくろ

の熱れているのを見上げていました。



蜂羽音 山茶花の夢醒しけり 麦歌

本物を初めてみました。すごく大きかったです。

次に二条城へと向かいました。二条城も大きかったです。たまたま全部合わせれば何百枚にもなります。ここには、うぐいす張りの床があり、歩くとキュキュと音がしました。二条城を出て次の目的地金閣寺に向かいました。

金閣寺の本当の名は、鹿苑寺です。鹿苑寺はほとんど金で作られ、ものすごくきれいでした。最後は映画村です。映画村では自由に行動しました。私は、美穂・たくで行動しました。女ゆうさんといっしょ

に写真を撮ったり、アトラクションをみたりな所に入ったりしました。映画村で試食用の八つ橋を食べたらおいしかったので、おみやげに買い、大事にもって帰りました。

みんな集まったところで、バスに乗り、京都駅へと向かいました。駅に着いたらお世話になった運転手さんと、ガイドさんに「さようなら」をしました。京都から福山までひかり一五号で、福山から三原までは、五号で、三原まで帰りました。先生としりとりもしました。修学旅行は最高の思い出になりました。